

学年	高校3年	教科	国語	科目	古典B	単位数	2
教科書名	新編古典B (大修館書店)			副教材名	新明説漢文ノート 修訂版 (尚文出版)、八訂版 体系古典文法 (数研出版)		
クラス・コース	進学・スポーツ・芸能			担当者名	田中 英晃・小高 麻由		

## I. 目標

- 基礎学力到達度テストにて高得点を獲得する。また、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。

## II. 授業のねらい

- 基礎学力到達度テスト、共通テストにて高得点を獲得するために、問題演習を多く取り入れる。
- 古典に表れている、様々なものの見方や考え方を、古典についての解説や随筆なども必要に応じて参考にしながら、的確に読み取ることを通して、思考力や想像力を伸ばす。本文の正確な音読と内容理解、作品の背景、日本文化に与えた影響などを学習させる。

## III. 授業の進め方

- 基礎学力到達度テスト対策のための演習を多く取り入れる。
- 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法によって学習を進める。
- 文法事項や表現技法は、副教材を用いながら学習していく。
- 授業内容の板書とともにICTを活用する。
- ipadにおいてClassi Noteを活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。

## IV. 学習上の留意点

- 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句調べや作品の通読を行う。
- 電子黒板を使用するため、自分なりのノート作成に努めること。
- ALにおいて生徒同士相互理解を深めるために積極的に意見を述べる。
- 即戦ゼミ・体系古典文法準拠ノートは主に自学自習で使用する。

## V. 定期試験 (状況によって変動する場合がある)

- 1学期中間試験…「大鏡」、漢文 (演習で扱った文章)、初見問題 (古文漢文)
- 1学期期末試験…古文 (演習で扱った文章)、「十八史略」、初見問題 (古文漢文)
- 2学期中間試験…古文漢文 (演習で扱った文章)、『蜻蛉日記』、初見問題 (古文漢文)
- 2学期期末試験…『大和物語』、『雑説』、初見問題 (古文漢文)

## VI. 評価の方法

- 定期試験・進研模試・スタサポ…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	基礎学テストに向け 【古文・漢文】 基礎学に向けての演習 (適宜プリントにて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・進研模試</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物(課題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度テストに向けて適宜プリントを使い、演習を通して理解を深める。 古文：助動詞・助詞・敬語・和歌 漢文：否定・疑問・反語 白文の訓点付けと書き下し 漢字の読み</li> <li>・『大鏡』が書かれた背景、また、歴史物語について知る。 ・助動詞、助詞、敬語の理解を深める。 ・和歌に込められた「梅の木の主」の思いを読み取るとともに、修辭法を理解する。</li> <li>・演習問題(プリント等)を通して、重要な句形(否定・疑問・反語)を理解する。 ・白文の訓点付け、書き下し(基礎学対策)</li> <li>・『十八史略』が書かれた時代背景を理解する。 ・句形の理解(否定・疑問・反語・抑揚) ・文章読解</li> <li>・『伊勢物語』を用いて、和歌の復習をする。 ・助動詞や修辭法を理解する。 ・演習プリントを用いる</li> </ul>
	5	【古文】 『大鏡』 鶯宿梅 助詞・敬語・副詞・修辭法		
	6	【漢文】 演習問題 否定・疑問・反語		
	7	【漢文】 ・『十八史略』 先從隗始 ・演習問題 否定・疑問・反語・抑揚  【古文】 演習問題 「伊勢物語」 あづま下り		
二学期	9	基礎学テストに向けて 【古文・漢文】 基礎学に向けての演習 (適宜プリントにて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・進研模試</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物(課題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力到達度テストに向けて適宜プリントを使い、演習を通して理解を深める。 古文：助動詞、敬語、和歌 漢文：否定、疑問、反語 白文の訓点付けと書き下し 漢字の読み・漢詩</li> <li>・平安時代、藤原道綱母と夫との関係等、『蜻蛉日記』が書かれた背景を知る。 ・平安女流日記を読み、作者の心情を読み取る。</li> <li>・登場人物の行動を的確に読み取り、話のおもしろさを理解する。 ・文法を理解し、文章読解に活かす。</li> <li>・人間関係や身分について正しく理解し、登場人物の心情を理解する。</li> </ul>
	10	【古文】 『蜻蛉日記』 町の小路の女		
	11	【古文】 ・『大和物語』をばすて ・演習問題		
	12	【漢文】 『雑説』 部分否定・仮定形・受身形・ 反語形・疑問形		

※シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。